

ねりいた

練板ベー通信

2005年7月28日
練馬板橋ベーゴマの会

臨時増刊号

大地が揺れた! Mr.高橋 練板オープン2年連続優勝 子どもはダイゴ、今期2個目のタイトルを獲得

東京で震度5の地震は何年ぶりだろう。ドンと突き上げ足元がグラつく。公園のブロンズ像は揺れ、今にも折れそうだし、電線は縄跳びの縄のように舞い踊る。5月にはケヤキの幹が落ちてきた、今年は何かとアクシデントに見舞われる。そんな夏祭り会場で7月23・24日「第四期練板オープン」を開催した。

2日間にわたって行う練板オープン、昨年の超人後藤対 Mr.高橋の対戦はまだ記憶に新しい。何も真夏にそこまでやらなくても良さそうなものを、バカな奴らだとどうぞお笑ってください。これがベーキチたちの生き様なのです。

オリジナルベー「NIBO5」を思い思いに加工した猛者ども、試しまわしでニヤリとするM、首をひねり納得いかないKなど様々だ。決勝トーナメントに進出したのはタイキロウ、ツッチー、ケイタ、篠ケン、ダイゴ、作務衣師岡、ハルク大竹、Mr.高橋、超人後藤、Mrs.高橋、松ちゃん、釣人今村、岩ちゃんの13名。パッカンばかりで点数の伸びなかったトシ田口とホッシー、決勝常連のグッチとワッチャンが予選落ちは寂しいが、これが勝負の厳しさだ。

予選トップ通過の作務衣師岡は、篠ケンを破り勢いに乗る Mrs.高橋に一蹴される。決勝慣れしていない悲しさで、作務衣は心臓がバクバクだ。このところ決勝常連となっている釣人今村はツッチーを破るが、Mr.高橋の厚い壁に阻まれる。一方、タイキロウとの親子対決を制した岩ちゃんは、ハルク大竹を破り波に乗る。超人後藤を破ったダイゴ、初日子ども優勝を決めるが、ケイタを破った松ちゃんに負けこまで。準決勝に残った Mrs.高橋は Mr.高橋との夫婦対決に挑むが、さすがにここは Mr.が決め、Mrs.初の決勝進出ならず。「家では奥さんの方が勝率いいんだけどねえ。」だ、

そうです。同じく準決勝に来た岩ちゃんは松ちゃんを飛ばし初の決勝進出を決める。

その Mr.と岩ちゃんの決勝3番勝負、まず岩ちゃんが一発飛ばしで先勝する。6月から始めたばかりだというのにこの強さは何なんだ。ここで左には左と Mr.が大阪仕込みの左入れてでケツを取りタイに持ち込む。何とか面目を保った Mr.が意を決して右入れて勝負に出る。これを見事に決めた Mr.が初日優勝を飾った。



ダイゴ、Mr.高橋 おめでとう!



トシ田口、返り討ちにあい 昨年の雪辱ならず

二日目はハルク大竹が絶不調、1勝もできずに予選敗退とは。初日好調だった岩ちゃん、Mrs.高橋も予選通過ならず、これだからベーゴマはわからない。決勝トーナメントに進んだのはトキヤ、マサキ、RYO 加藤、ケイタ、ダイゴ、タイキロウ、マサ兄、Mr.高橋、作務衣師岡、プレス三枝、まみい、釣人今村、トシ田口、ヒラリンの14名。師岡親子は仲良く3人で予選通過は立派だ。

予選トップ通過のマサ兄だが、ケイタを破ったまみいに一発ではじかれまさかの敗戦。逆にまみいは準決勝進出を果たす。タイキロウを破り昨日に続き準決勝をめざす作務衣は、また極度の緊張に頭がボーっとなり、マサキを破ったトシ田口に敗退。「田口さん対策はバッチリだったんだけど」と悔やむ。一方、ヒラリンを破り健在ぶりを見せつけたトキヤだが、気力充実の Mr.高橋の前に姿を消す。何気に残っている釣人今村、RYO 加藤を破るが、プレスを飛ばしたダイゴにやられてまたもベスト8止まり、入れ方の工夫が必要のようだ。ダイゴは昨日に続き子ども優勝を決め、目指すは総合優勝だ。会場にダイゴコールが沸き起こる。やりにくそうな Mr.高橋、悪役は慣れっこだ。手抜きなしの一発勝負、手元に狂いはない。これをきっちり決めて決勝進出、ダイゴとの握手も余裕の笑顔だ。片や予選でトシ田口を飛ばした大物食いまみいは、準決勝でトシ田口との対戦を迎えるが、柳の下にドジョウは2匹いなかった。これで昨年同様、Mr.高橋対トシ田口の再戦となった。

ハルクの掛け声に両者のベーが投げ入れられる。パチーン！ Mr.ベーがきれいに決める。追い詰められたトシ田口、何とか去年の雪辱を晴らしたいが、表情に余裕がない。読み合うふたり、緊張の糸が張り詰める。チッチのチッ、ここで何と Mr.が意表をついて床の右をねらいトシベーのケツを取る。絶妙の位置取り、はじき一発で2年連続優勝を決める。前人未達の連続優勝、しかも二日連勝を決めた Mr.高橋、還暦を向かえ益々円熟の域に到達したかーっ。



初代加工王は篠ヒデ、 準優勝はRYO加藤

さらベーは加工をして欲しいと待っている。もっと強くなりたいと待っている。そのさらベーを強くするのも、だめにするのも加工次第だ。ベーの先鞭たちが工夫を重ねてきた歴史を、自分の作ったベーで勝つ喜びを知ってほしい。

子どもだけの加工の大会、その初代加工王の栄冠を得点100で篠ヒデが獲得した。準優勝は93点のRYO加藤、3位には82点でワッチャン、ダイゴのふたりが入賞した。篠ヒデは全般的に高得点の評価を得たが、それは丁寧な仕上がりが好印象につながったようだ。この体験を強いベー作りにかかして行こう。